

GASOLINE STATION

Patent Number: JP59006160
Publication date: 1984-01-13
Inventor(s): MASAI SHIROU
Applicant(s): TOUKIYOU TATSUNO:KK
Requested Patent: ☐ JP59006160
Application Number: JP19820113445 19820630
Priority Number(s):
IPC Classification: B60S5/02; B67D5/08
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To perform preparation of oil supply, alarm, inform or fire extinguish, etc. automatically by operating each machinery through a computer on the basis of a signal on an object in the site detected by an image sensor.

CONSTITUTION:When a car advances to a site 1 and stops, an image sensor 3 will detect it and provide a signal to a computer. A computer 8 will decide said signal to operate a speaker 9 to produce a welcome message while to drive a winder 6 thus to lower an oil supply hose 5 to the position accessible by a service man. Upon advancing of car after oil supply, a welcome message is produced from the speaker 9 again. Upon occurrence of fire, the sensor 3 will detect it while the computer 8 will function a fire extinguisher 4 to eject fire extinguishing agent and to inform to the fire department. Furthermore if an invader intrudes into the site after close of shop, the sensor 3 will detect him and the computer 8 will produce an alarm while inform to a security company, etc.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—6160

⑤ Int. Cl.³

B 60 S 5/02

B 67 D 5/08

識別記号

庁内整理番号

6578—3D

6916—3E

⑬ 公開 昭和59年(1984)1月13日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 給油所

東京都港区芝浦二丁目12番13号

株式会社東京タツノ内

⑮ 特 願 昭57—113445

⑯ 出 願 人 株式会社東京タツノ

⑰ 出 願 昭57(1982)6月30日

東京都港区芝浦二丁目12番13号

⑱ 発 明 者 政井士郎

⑲ 代 理 人 弁理士 久保司

明 細 書

1. 発明の名称

給 油 所

2. 特許請求の範囲

敷地内の物件を検知するイメージセンサーと、その検知信号により情報を判断して所定の信号を出力するコンピューターと、その出力信号により動作する機器とからなる給油所。

3. 発明の詳細な説明

この発明の給油所は、敷地内に自動車や侵入者の進入、または火災が発生すると、それぞれ給油準備、警戒および通報または消火および通報を自動的に行うもので、すなわち敷地内の物体を検知するイメージセンサーと、その検知信号により情報を判断して所定の信号を出力するコンピューターと、その出力信号により動作する機器とからなるものである。

つきに図面について説明すれば、給油所敷地1内のキャノピー2にイメージセンサー3、消火装置4および吊下給油ホース5、5'、5"の捲取機6、

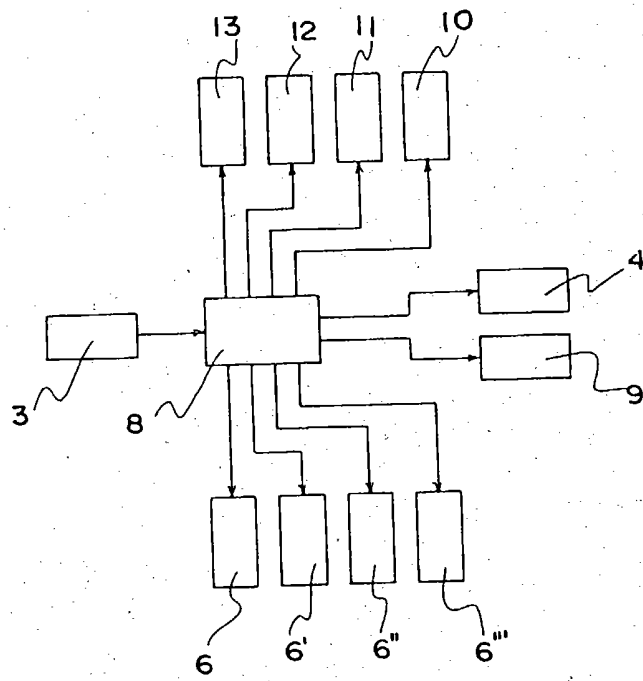
6'、6"を設ける。

事務所7内にコンピューター8を設け、イメージセンサー3の出力を導入し、コンピューター8の出力を捲取機6、6'、6"、6"、消火装置4、スピーカー9、消防署10、警察署11、警備会社12および責任者宅13に導入する。

つきに動作を説明すれば、給油所の営業時に給油を受けようとする自動車が敷地1内に進入して停車すると、イメージセンサー3が検知しコンピューター8が判断しその出力がスピーカー9に入力され、「いらつしやいませ」と発声し、また駐車位置を検知し、その出力が上方にある、例えば捲取機6に入力され、捲取機6は給油ホース5を給油員の手の届く高さまで下降させるから、給油員はホース5をさらに引下げ、自動車タンクの注油口にノズルバルブ14を挿入して給油し、給油を終えれば手許スイッチを閉じ捲取機6のリールを逆転させて給油ホース5を捲上げる。

計量された給油量は、記録されかつ伝票が発行される。

図2



自動車が発進するとイメージセンサー3が検知し、コンピューター8が判断しその出力によりスピーカー9から「ありがとうございました」と発声する。

つぎに火災が発生するとイメージセンサー3が検知し、コンピューター8が判断しその出力により消火装置4が動作し消火剤を噴出し、同時に消防署10および責任者宅13に通報する。

夜間のような閉店時に敷地1内に侵入者があると、イメージセンサー3が検知し、コンピューター8が判断しスピーカ9から立去るように警告を発し、立去らない場合は警報11警備会社12および責任者宅13に通報する。

この発明の給油所は、営業中に敷地内に自動車が発進するとイメージセンサーが検知してコンピューター8の判断出力により給油準備を行い、閉店中に侵入者があると警戒動作および通報を行い、営業中および閉店中に火災が発生すると消火動作および通報を自動的に行うものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の給油所の斜視図、第2図はブロック図である。

- 1 …… 敷地 3 …… イメージセンサー
- 4 …… 消火装置
- 5, 5', 5'', 5''' …… 給油ホース
- 6, 6', 6'', 6''' …… 捲取機
- 8 …… コンピューター

出願人 株式会社 東京タツノ

代理人 弁理士 久保 司



図1

